

地方創生に向けた兵庫・鳥取両県の共同取組

兵庫県と鳥取県は、古来より山陰道・因幡街道で結ばれ、経済、歴史、文化など、深いつながりを有しつつ、共に栄えてきた。

近年は、両県にまたがる山陰海岸ジオパークによる連携や高速道路網の整備による交流などが活発に行われている。

この流れを更に加速させ、全国的な課題でもある、東京一極集中、人口減少・人口偏在に打ち勝ち、地域活力の再生と両地域の発展を図るため、下記の共通課題に対し共同して取組を進めることとする。

記

○ 山陰海岸ジオパークを中心とした観光連携

本年、9月23日に世界ジオパークネットワークに再認定された山陰海岸ジオパークを活かした誘客を促進し、両県の観光振興を図る。

- ・エリア内の観光情報の共有化やアクティビティの共同実施
- ・他のジオパークとのPRイベントの実施
- ・アジア太平洋ジオパークネットワーク山陰海岸シンポジウムの開催支援
- ・飛行機や鉄道など交通ネットワークを活用した首都圏への観光PR
- ・エリア内の周遊性を高める2次交通の充実強化

○ 国道29号周辺地域及び氷ノ山の活性化

国道29号沿線地域への誘客と賑わいづくりを図るため、東京オリンピック、関西ワールドマスタースゲームズの開催を睨んだナショナルチームの合宿や、国内大会の誘致を進める。

また、森林セラピー事業の推進や、日本風景街道への登録など、引き続き、周辺市町と一体となって、交流と連携による地域の活性化に取り組む。

さらに、氷ノ山を中心とした両県周遊観光のモデルコースづくりや多彩なアウトドアイベントを連携して実施する。

○ 東京一極集中を分散するための産業立地の取組

I Tを活用した知識集約型産業や、自然・技術に裏打ちされた食品関連産業をはじめとする活力ある産業の集積を連携して進め、両県にまたがる中山間地域をはじめとした日本海沿岸の産業振興、経済発展を目指す。

○ 交通ネットワークの整備促進

日本海国土軸を形成する高速道路の空白地帯となっている山陰近畿自動車道及び日本海国土軸と太平洋新国土軸を連結する中国横断自動車道姫路鳥取線の整備推進について、連携して国等への働きかけを行い、円滑な事業推進を図る。両路線を補完して、但馬、鳥取県東部、播磨の周遊性の向上と、暮らし、経済、観光に大きな効果が期待される国道 482 号整備に両県で積極的に取り組む。

また、山陰本線、因美線、智頭線における増便や高速化、特急「はまかぜ」の全便鳥取駅停車など、両県にまたがる鉄道ネットワークの更なる利便性の向上について連携して J R 等へ働きかけを行う。

○ 有害鳥獣対策の連携

両県の農林業に深刻な被害を与えているシカ等による有害鳥獣問題について、捕獲技術等に関する意見交換を行い、取組を強化する。

あわせて、兵庫県森林動物研究センターのノウハウを活かして生息状況の把握、狩猟技術者の育成など、広域的な連携を図る。

○ 危険ドラッグ対策の連携

若年層を中心に急速に広がり、健康被害や事件・事故の多発など、多大な危害をもたらす「危険ドラッグ」の撲滅に向け、両県の条例の効果が最大限発揮されるよう、連携して取り組む。

平成 26 年 10 月 17 日

兵庫県知事 井戸 敏三

鳥取県知事 平井 伸治